

評価細目の第三者評価結果 (保育所、地域型保育事業)

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	「子どもが子どもらしく生きる」を主題とした理念・方針・目標はパンフレット・ホームページに掲載し、周知を図っている。規律を重んじながらも職員が助けあい・保育観を統一しながら日々の保育を進めている。

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	市内の私立保育園連盟に参加し、会合等への参加を通して情報の収集に努めている。法人は県内に3か所の保育所を運営しており、法人内での情報交換や指導を活かし、運営を進めている。
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	現在の経営課題として①職員の育成・②保育の質の向上・③保育環境の充実の3つを挙げている。課題解決により業務の効率化・職員の労働環境整備にも繋げていく意向をもっている。

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	園における中長期の計画はないものの、法人への相談・指導を通して事業の進捗を図っている。保育指針の改訂に伴い、保護者支援・長時間保育への配慮についても今一度検討する意向を持っている。
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	保育課程・年間保育指導計画・年間行事予定表や職員の役割分担が記された年間当番表など運営のための各種計画が策定されている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	各種計画の進捗は、職員会議にて確認されており、職員の話し合いをもって進められている。また職員会議とは別に0・1歳、2歳、3・4・5歳に分けられた会議が開催されており、合同での保育計画や月案の方針等について討議されている。
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	b	園だよりには月間の「保育のねらい」についてクラスごとに掲載しており、園の保育方針が伝わるよう取り組んでいる。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果	コメント
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	保育内容・権利擁護・安全等について考察するチェックリストを実施しており、職員が振り返ることにより保育の質を高められるよう取り組んでいる。
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	管理者は、毎年度園全体の運営・保育に対する自己評価を実施しており、課題の抽出と目標の設定にあたっている。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ－１ 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ－１－（１） 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ－１－（１）－① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	災害時役割分担表が作成されており、皆が見られるよう事務室に掲示されている。避難訓練・行事等々についても年度で役割分担がされており明確化が図られている。
Ⅱ－１－（１）－② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a	個人情報保護の取り扱いについては、ガイドラインに沿い、適切な取り扱いをするよう指導に取り組んでいる。また園内および職員の情報についても機密を保持するよう・プライベートとは一線を画すよう注意喚起にあたっている。
Ⅱ－１－（２） 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ－１－（２）－① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	新入園児を多数迎える年度初めは管理職が直接クラスに入り、職員をサポートおよび指導しながら運営を進めている。また新規採用職員に対して園のやり方を覚えてもらい、業務が軌道にのるよう取り組んでいる。
Ⅱ－１－（２）－② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	専門家や外部委託機関のアドバイスをもとに人事・労務・財務を含めた運営を進めている。また制作時の資源再利用・備品の管理等についても指導し、経費節減に努めている。

Ⅱ－２ 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ－２－（１） 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ－２－（１）－① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	各種採用媒体を駆使し、人材の確保にあたっている。産前産後および育児休業を含め、職員の人生設計と両立し、長く勤務してもらえよう就業環境の整備に努めている。
Ⅱ－２－（１）－② 総合的な人事管理が行われている。	b	就業規則を定め、サービス規定等職員・保育士として遵守すべき事項を明示している。園の規律を全職員に配布し、保育姿勢にはじまり身だしなみまで園としての方針を周知している。
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	有給休暇については帳簿にて残日数等管理し、適正な取得に取り組んでいる。
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ－２－（３）－① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	自己評価の実施など業務のふり返りとチェックにより研鑽にあたっている。職員に対しては多様な意見を受け入れていく受容力を求めており、職員の成長を見守っている。
Ⅱ－２－（３）－② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	「リスクマネジメントを中心とした園内研修」・「アレルギー対応や保育技術向上など専門的分野を中心とした園外研修」についてそれぞれ年間研修計画を立てており、職員の自己啓発をサポートしている。計画性を持った取り組みに職員の資質向上を重視する姿勢を理解できる。

<p>Ⅱ－２－（３）－③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p>	<p>b</p>	<p>職員一人ひとりに対する研修計画はないものの、外部研修の派遣にあたっては、経験や希望を考慮し、園全体でステップアップが図れるよう取り組んでいる。今後は新入職員のマナー研修など基礎的事項の習得ができる研修への派遣を検討している。</p>
<p>Ⅱ－２－（４） 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
<p>Ⅱ－２－（４）－① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	<p>b</p>	<p>昨年度は実習生の受入れが1名なされており、後進の指導への貢献を果たしている。今後は採用活動にも繋げ、積極的な取り組みとしていく意向をもっている。</p>

Ⅱ－３ 運営の透明性の確保

	第三者評価結果	コメント
<p>Ⅱ－３－（１） 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>		
<p>Ⅱ－３－（１）－① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	<p>a</p>	<p>ホームページは、園の理念・園名の由来のほか、数多くの写真とともに園の活動を理解できる内容となっている。また法人の定款を掲載するなど情報の公開に努めている。</p>
<p>Ⅱ－３－（１）－② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p>	<p>a</p>	<p>経理規程を整備しており、専門家の指導のもと適正な取引と運営に取り組んでいる。今年度は玩具や遊具の整備に対して支出をし、環境の充実を図っている。</p>

Ⅱ－４ 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果	コメント
<p>Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。</p>		
<p>Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>園内に竹の子保育園地域子育て支援センター「さわらび」が設置されており、地域の児童福祉に資する事業を受託している。「おひるねアート」など好評を博した企画が実施されており、たくさんの親子の利用に繋がられている。</p>
<p>Ⅱ－４－（１）－② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	<p>b</p>	<p>高等学校等の就労体験を受け入れており、子どもの進路や社会経験に役立つよう協力している。受入規程を整備し、更に交流の広がりを目指す。</p>
<p>Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。</p>		
<p>Ⅱ－４－（２）－① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	<p>a</p>	<p>園の玄関には公的施設をはじめとする情報が掲示されており、社会資源の活用を薦めている。保健センター等とも連携し、子どもたちの成長を見守っている。</p>
<p>Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
<p>Ⅱ－４－（３）－① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。</p>	<p>a</p>	<p>官公庁の見学の受け入れなど地域児童福祉のアピールとなる活動がなされている。地域子育て支援センターを活用し、園庭開放や絵本の読み聞かせなど園の機能を活用した貢献がなされている。</p>
<p>Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。</p>	<p>a</p>	<p>地域子育て支援センター事業を受託しており、地域の児童福祉に資する活動が行われている。活動内容により利用者数に差異があるため、企画の充実を今後の課題としている。</p>

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	就業規則を整備し、サービス・懲戒の規定をもって子どもを尊重した支援の実践と業務従事者としての心構えを示している。
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	子どもを尊重した支援がなされるよう日々、職員の指導にあたっている。男性保育士の業務についても配慮し、保護者の理解を得た保育が実施されるよう努めている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	入園希望者に対する見学は、管理職により対応しており、パンフレットを使用しながら職員体制・入園時の準備・保護者の負担等について丁寧な説明を心掛け実施している。
Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a	行政および入園時より慣れ保育の実施について説明し、理解を求めている。子どもの健康を最優先し、短縮・延長等柔軟な姿勢と保護者との連携によりスムーズなスタートとなるよう取り組んでいる。
Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	就学先の小学校とは会合を持ち、必要な取り組みを聞くなど保育への参考としている。午睡時間の調整や知育ワークの実施など就学に向けての準備を進めている。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	行事後のアンケート等は実施していないものの、連絡帳や日々のコミュニケーションにより利用者の意向把握に努めている。
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	重要事項説明書には「相談・苦情受付担当者、受付責任者」が記載されており、あわせて第三者委員が明示されている。また外部の受付窓口として県および市の担当課の連絡先が紹介されている。
Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a	苦情解決規程が整備されており、保護者の困っていることや要望をすくい取れるよう努めている。相談室が設置されており、プライバシーに配慮しながら対応することが可能となっている。
Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	相談や要望に対しては関係機関や法人と相談しながら適切な対応に努めている。園と保護者が分かり合い、互いを尊重できる関係を目標・理想として運営に取り組んでいる。意見箱の設置については検討事項としている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		

<p>Ⅲ－１－（５）－① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	<p>a</p>	<p>日々、園内外の安全チェックを実施しており、危険個所を周知するヒヤリハットマップとあわせて子どもたちが安心して生活できる環境提供に取り組んでいる。ヒヤリハット報告書の設置について検討しており、実施により更に予防策が充実することが予想される</p>
<p>Ⅲ－１－（５）－② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>感染症対策に対してはガイドラインを活用し、衛生の確保にあっている。また入園時には保護者に登園基準を説明し、皆で蔓延を防止するよう依頼している。</p>
<p>Ⅲ－１－（５）－③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	<p>a</p>	<p>災害時の役割分担が明示されており、毎月の避難訓練は火災・地震等の想定のもと実施されている。避難訓練は、午前中だけでなく15時30分・17時30分と多様な時間設定がなされており、訓練のための訓練とならないよう・全職員が対応できるよう計画的に取り組んでいる。園がチームで安全策を講じている姿勢を理解でき、他の園の範となる取り組みと言える。</p>

Ⅲ－２ 福祉サービスの質の確保

<p>Ⅲ－２－（１） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
<p>Ⅲ－２－（１）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。</p>	<p>a</p>	<p>「職員職務分掌」と題された独自の業務マニュアル・指南書が作成されており、職員が都度確認する具体的内容となっている。</p>
<p>Ⅲ－２－（１）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	<p>a</p>	<p>修正事項については都度見直しをしており、手作りのマニュアルと追加の跡は園の歩みとして捉えることができる。園内研修時にも変更事項を確認し、職員への周知に努めている。</p>
<p>Ⅲ－２－（２） 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
<p>Ⅲ－２－（２）－① アセスメントにもとづく個別の福祉サービス実施計画を適切に策定している。</p>	<p>a</p>	<p>入園時には、発育・食事・家庭状況等に関する調査票を提出してもらい、管理している。また入園時の個人面談において確認をし、面談記録は職員間で共有・把握するよう努めている。</p>
<p>Ⅲ－２－（２）－③ 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。</p>	<p>a</p>	<p>児童表は「子どもたちそれぞれに・領域別に」目標と成長の記録がなされている。年度・クラスが変わる4月は特に観察に注力しており、細かな記録がなされている。</p>
<p>Ⅲ－２－（３） 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
<p>Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	<p>a</p>	<p>年齢により書式が定められており、子どもたち一人ひとりの活動・様子が記されている。職員による記録の差異については、管理職により指導とフォローにあっている。</p>

<p>Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	<p>a</p>	<p>子ども・家庭の個人情報等が含まれる書類については、鍵のかかるキャビネットにて保管がなされている。書類ごとにファイリング方法を変えており、使いやすいよう工夫がなされている。</p>
-----------------------------------------	----------	----------------------------------------------------------------------------------------------

評価対象Ⅳ 内容評価基準

A－１ 保育内容

	第三者評価結果	コメント
A－１－（１） 養護と教育の一体的展開		
<p>A－１－（１）－① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育過程を編成している。</p>	<p>a</p>	<p>発達課程、養護等各領域について保育内容と目標を定めた保育課程が策定されている。小学校との連携、芝生を裸足で遊ぶ・英語教育など園の特色についても盛り込まれており、のびのびとした保育が実践されるための指針となっている。</p>
A－１－（２） 環境を通して行う保育、養護と養育の一体的展開		
<p>A－１－（２）－① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。</p>	<p>a</p>	<p>職員による清掃分担、安全チェックがなされており、園内外の衛生と安全が確保されている。特に清掃については維持することで職員の日々の負担を減らし、効率と清潔を両立することに成功している。</p>
<p>A－１－（２）－② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>子どもを受容し、年齢のほか子どもたち一人ひとりに適した言葉遣いをするよう指導に努めている。子どもの状態や心理を見極め、確固たる姿勢をもって臨める保育者の育成に取り組んでいる。</p>
<p>A－１－（２）－③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>食事・排せつなど基本的な生活習慣の習得については、適切な時期を見極め、家庭に声を掛けながら進めている。子どもの発育・発達に鑑みながら成長を見守るよう取り組んでいる。</p>
<p>A－１－（２）－④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	<p>a</p>	<p>園庭は芝生でおおわれており、裸足で思い切り遊ぶことができる。また室内ではコーナー保育や机上遊びなど落ち着いて自由に遊ぶ設定もしており、バランスよく活動できる環境と工夫がある。</p>
<p>A－１－（２）－⑤ 乳児保育（０歳）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>職員との関わり、情緒の安定、発達にあわせた離乳、感覚の働きの醸成等を目標として掲げている。特に午睡時については安全・快適さに配慮し、きめ細やかな対応に努めている。</p>
<p>A－１－（２）－⑥ ３歳児未満児（１・２歳児）の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>他の園児と好きな遊びを自由に楽しみ、またプール活動、行事なども積極的に関わられるよう工夫がなされている。保育内容を詰め込みすぎないよう配慮し、意欲的に取り組めるよう努めている。</p>
<p>A－１－（２）－⑦ ３歳以上児の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>就学に向け、落ち着いて活動に取り組めるよう配慮しており、子ども一人ひとりに対して課題と目標をもつよう心掛けられている。教育的活動にも注力しているものの、まずは体づくり・体を動かすことを大事にした保育の実践に努めている。</p>

<p>A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>b</p>	<p>保護者からの発達等への不安や相談に回答し、必要時には関係機関への橋渡しをしながら一人ひとりへの対応に努めている。</p>
<p>A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>夕方からの合同保育時は、子どもの健康と体力に配慮し、穏やかに過ごせるよう努めている。「床に近い」活動を中心にブロック・塗り絵など落ち着いて遊び込める内容を用意している。また高齢児に対しても小さな子どもたちへの優しさが持てるよう異年齢交流を図っている。</p>
<p>A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>小学校との交流の中で必要な習慣や活動を聴取し、保育の中に取り入れるよう努めている。行事を通して集団での活動を覚え、また自立した行動がとれるよう家庭と連携し、就学後の生活に馴染めるよう取り組んでいる。</p>
<p>A-1-(3) 健康管理</p>		
<p>A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	<p>a</p>	<p>朝の視診、検温結果等の把握により子どもの健康状態を確認している。また特に低年齢児については、健康状態を担当職員全員が把握できるようツールを使用するなど工夫した取り組みがなされている。</p>
<p>A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。</p>	<p>a</p>	<p>内科検診、歯科検診、身体測定を定期で実施しており、結果を管理している。結果に対しては、時に受診を進めるなど家庭への報告に努めている。</p>
<p>A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもに対し、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>食物アレルギーを抱える子どもに対しては、除去食・代替食等にて対応し、栄養士を中心に安全な食事の提供に取り組んでいる。また薬剤の預かりなどは原則しないものの、疾患を限定し、柔軟かつ確実な対応にあたっている。</p>
<p>A-1-(4) 食事</p>		
<p>A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p>	<p>a</p>	<p>偏食については無理強いをせず、徐々に慣れていけるよう指導にあたっている。また園庭の芝生の上で食べたり、「お弁当の日」を設定したりと子どもたちが楽しめる活動を取り入れている。</p>
<p>A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。</p>	<p>a</p>	<p>1日の栄養摂取量やバランスを考慮し、おやつまで含めたトータルでの食事提供がなされている。ひな祭りや子どもの日など行事にちなんだ献立が立てられており、法人内三園で協力しながら進めている。</p>

A-2 子育て支援

	第三者評価結果	コメント
<p>A-2-(1) 家庭との緊密な連携</p>		
<p>A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>連絡ノートや日々の会話を通じてコミュニケーションを図るよう努めている。特にトイレトレーニングについては独自の書式を使用し家庭との連携を図った取り組みがなされている。</p>
<p>A-2-(2) 保護者等の支援</p>		

<p>A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>楽しめたこと・取り組めたことなどを連絡帳で知らせ、保護者に子どもの成長を実感してもらえるよう連絡帳の記載に注力している。口頭・文書それぞれの良さを活かし、連絡方法を思慮しながら取り組んでいる。</p>
<p>A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>a</p>	<p>行政・保健センター・児童相談所等関係機関と連携し、適切な対応に取り組んでいる。着替え時や朝の視診にて様子を観察し、食事の摂取量や整容の状態を把握しながら保育を進めている。</p>

A-3 保育の質の向上

	第三者評価結果	コメント
<p>A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）</p>		
<p>A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。</p>	<p>a</p>	<p>年度に一度、職員は自己チェックをしており、保育姿勢、権利擁護等の振り返りがなされている。また年・月・週の指導計画についても決められた期間において反省と評価がなされており、次期に繋げる保育が実践されている。</p>